

授 業 科 目 の 概 要			
(北海道薬科大学大学院臨床薬学専攻博士課程)			
分野	授業科目の名称	講義等の内容	備考
地域 医療 薬学 分野	在宅医療薬学特論	(概要) 薬剤師の在宅医療への関わりが求められる中で、その意義、現状、問題点、課題を整理し、在宅医療への薬剤師の介入の推進に向けた方策を見いだす。 (オムニバス方式/全15回) (古田精一/6回) 薬剤師の在宅医療における役割と医師・看護師・薬剤師の連携、薬薬連携による在宅医療を学ぶ。 (坂東 勉/4回) 在宅医療における緩和医療・家族ケアに関わる薬剤師の役割を学ぶ。 (櫻井秀彦/3回) 医療経済の視点からみた在宅医療の有用性を検証する。 (村上美穂/2回) 在宅医療における患者コミュニケーションと服薬説明	選択必修1単位 1年前期開講
	在宅医療薬学特論演習	在宅医療薬学に関する論文の読解・発表・討論をとおして、研究計画の立案、研究手法、データ整理の方法を学び、問題解決能力を身につける。	選択必修6単位 1年通年・2年前期開講
	公衆衛生薬学特論	(丹保好子/15回) 公衆衛生を予防医療の観点でとらえ、保健衛生の科学的・実践的知識を修得するとともに、環境要因・化学物質に由来する健康被害の防止について考察する。また、臨床における重要な急性中毒の鑑別と最適治療を学ぶ。	選択必修1単位 1年前期開講
	公衆衛生薬学特論演習	公衆衛生薬学に関する論文の読解・発表・討論をとおして、研究計画の立案、研究手法、データ整理の方法を学び、問題解決能力を身につける。	選択必修6単位 1年通年・2年前期開講
薬物 治療 学 分野	薬物治療学特論	(概要) ファーマシューティカル・ケアに基づく、各種疾患に対する薬物治療計画を立案する。 (オムニバス方式/全15回) (早川 達/3回) 呼吸器疾患における最新の薬物療法を学び、薬物治療計画を立案する。 (早勢伸正/3回) 循環器疾患における最新の薬物療法を学び、薬物治療計画を立案する。 (大滝康一/3回) 感染症における最新の薬物療法を学び、薬物治療計画を立案する。 (今田愛也/3回) 代謝性疾患における最新の薬物療法を学び、薬物治療計画を立案する。 (町田麻依子/3回) 悪性腫瘍における最新の薬物療法を学び、薬物治療計画を立案する。	選択必修1単位 1年前期開講
	薬物治療学特論演習	薬物治療学に関する論文の読解・発表・討論、症例検討をとおして、研究計画の立案、研究手法、データ整理の方法を学び、問題解決能力を身につける。	選択必修6単位 1年通年・2年前期開講

授 業 科 目 の 概 要			
(北海道薬科大学大学院臨床薬学専攻博士課程)			
分野	授業科目の名称	講義等の内容	備考
薬 物 治 療 学 分 野	情報機能薬学特論	(概要) 病態および薬物治療によって変化する生体反応を学ぶ。 (オムニバス方式/全15回) (佐藤久美/3回) 脂質異常症およびその治療薬の効果・副作用の発現に関与する細胞内情報伝達を学ぶ。 (江川祥子/3回) 骨・関節疾患の病態変化、薬物の治療効果・副作用を評価する血中バイオマーカーを学ぶ。 (渡辺泰裕/3回) 糖尿病の病態変化、薬物の治療効果・副作用を評価する血中バイオマーカーを学ぶ。 (加納誠一朗/3回) 循環器疾患およびその治療薬の効果・副作用の発現に関与する細胞内情報伝達を学ぶ。 (小松健一/3回) 漢方医薬品の効果・副作用の発現に関与する細胞内情報伝達を学ぶ。	選択必修1単位 1年前期開講
	情報機能薬学特論演習	情報機能薬学に関する論文の読解・発表・討論、症例検討をとおして、研究計画の立案、研究手法、データ整理の方法を学び、問題解決能力と薬物治療の実践力を身につける	選択必修6単位 1年通年・2年前期開講
	病態制御医薬品学特論	(概要) 生体反応調節物質としての医薬品とその代謝物の相互作用、新規医薬品の作用機序・薬効・臨床上的の問題点を学ぶ。 (オムニバス方式/全15回) (伊藤慎二/4回) 生体と医薬品、医薬品間の相互作用を考慮した医薬品の適正使用を学ぶ。 (和田浩二/4回) 植物・微生物由来する医薬品の開発と臨床応用を学ぶ。 (桜井光一/4回) バイオ医薬品を含めた分子標的治療薬の開発と臨床応用を学ぶ。 (今井幹夫/3回) 新規作用機序を有する新薬とその有効性、安全性上の問題点を学ぶ。	選択必修1単位 1年後期開講
	病態制御医薬品学特論演習	病態制御医薬品に関する論文の読解・発表・討論、症例検討をとおして、研究計画の立案、研究手法、データ整理の方法を学び、問題解決能力と薬物治療の実践力を身につける。	選択必修6単位 1年後期・2年通年開講
臨 床 薬 劑 学 分 野	病院薬剤学特論	(概要) 病院薬剤師業務の新しい展開とその実践に必要な理論を学ぶ。 (オムニバス方式/全15回) (郡修徳/8回) 患者の栄養評価と経静脈栄養・経腸栄養、および院内製剤の調製とその評価を学ぶ。 (山下美妃/7回) がん化学療法レジメンの評価と院内における感染対策を学ぶ。	選択必修1単位 1年前期開講
	病院薬剤学特論演習	病院薬剤学に関する論文の読解・発表・討論、処方解析をとおして、研究計画の立案、研究手法、データ整理の方法を学び、問題解決能力を身につける。	選択必修6単位 1年通年・2年前期開講
	病態制御薬剤学特論	(概要) 患者に最適な医薬品を投与するために、薬物の作用に影響する因子と先端医療におけるDDS 製剤による治療を学ぶ。 (オムニバス方式/全15回) (渡辺一弘/8回) 薬物動態を制御する薬物トランスポーター、薬物代謝酵素との相互作用を学ぶ。 (丁野純男/7回) 最適な薬物投与を目指した薬物送達システム(DDS)の理論と実際を学ぶ。	選択必修1単位 1年前期開講
	病態制御薬剤学特論演習	病態制御薬剤学に関する論文の読解・発表・討論をとおして、研究計画の立案、研究手法、データ整理の方法を学び、問題解決能力を身につける。	選択必修6単位 1年通年・2年前期開講

授 業 科 目 の 概 要			
(北海道薬科大学大学院臨床薬学専攻博士課程)			
分野	授業科目の名称	講義等の内容	備考
個別化医療薬学分野	遺伝子解析学特論	(概要) Pharmacokinetics/Pharmacodynamics に関わる遺伝子多型と有効で安全な薬物の投与設計を学ぶ。 (オムニバス方式/全15回) (黒澤菜穂子/7回) 遺伝子診断あるいは薬理ゲノミクスに基づく個別化医療、iPS細胞を用いた再生医療について学ぶ。 (斎藤嘉津彦/8回) 抗悪性腫瘍薬を例として、遺伝子多型に基づく薬剤の投与計画を学ぶ。	選択必修1単位 1年後期開講
	遺伝子解析学特論演習	遺伝子解析学に関する論文の読解・発表・討論、症例検討をとおして、研究計画の立案、研究手法、データ整理の方法を学び、問題解決能力を身につける。	選択必修6単位 1年後期・2年通年開講
	臨床薬物動態学特論	(概要) 薬物動態学理論に基づく、医薬品の投与設計を学ぶ。 (オムニバス方式/全15回) (猪爪信夫/8回) 病態と薬物動態学的相互作用を考慮した薬物の投与設計を学ぶ。 (戸田貴大/7回) 患者情報に基づく薬物の体内動態パラメータの推定と投与設計を学ぶ。	選択必修1単位 1年後期開講
	臨床薬物動態学特論演習	臨床薬物動態学に関する論文の読解・発表・討論、症例検討をとおして、研究計画の立案、研究手法、データ整理の方法を学び、問題解決能力を身につける。	選択必修6単位 1年後期・2年通年開講

【大学院の研究指導科目】 課題研究

授業科目の名称	講義等の内容	備考
地域医療薬学課題研究	(古田精一) ・在宅医療の進展に向けた実践研究 ・在宅医療の医療経済的側面からの評価研究 ・薬局業務の評価に関する研究 (丹保好子) ・予防医学、未病など健康の維持・増進、保健衛生の諸問題の分析と評価	実験900時間
薬物治療学課題研究	(早川 達) ・薬剤管理指導（薬歴管理）業務における知識・技術の体系化と評価 ・薬物治療における患者個体差の解析 (早勢伸正) ・糖尿病におけるアスピリン抵抗性に関する研究 ・TDM に基づいた薬物治療の最適化に関する研究 ・マクロライド系薬物の抗炎症作用に関する研究 (佐藤久美) ・糖尿病と心血管系疾患の関連に関する実験的研究 ・心不全患者に対するβ 遮断薬治療の研究 (江川祥子) ・関節リウマチの疾患、治療効果を評価するバイオマーカーに関する研究 ・胃癌患者の腎機能評価における新規バイオマーカーに関する研究 (渡辺泰裕) ・新規糖尿病治療薬の治療効果を評価するバイオマーカーに関する研究 (伊藤慎二) ・エストロゲンの代謝活性化による発癌に関する研究 (桜井光一) ・酸化ストレスによる糖尿病発症メカニズムに関する研究 ・活性酸素による心筋細胞死と細胞内シグナル伝達機構に関する研究	実験900時間
臨床薬剤学課題研究	(郡 修徳) ・院内特殊剤の開発とその評価 ・病院薬剤師業務に関する諸問題の解決 ・薬物の体内動態と相互作用に関する研究 (渡辺一弘) ・薬物の体内動態と相互作用に関する研究 ・小腸の薬物トランスポーターの調節と機能 ・ペプチドおよびタンパク質医薬品の粘膜吸収改善を指向した製剤開発	実験900時間
個別化医療薬学課題研究	(黒澤菜穂子) ・臨床薬剤師業務の発展をめざした遺伝子情報の解析と評価 (猪爪信夫) ・薬物血中濃度と臨床効果データの母集団pharmacokinetic/pharmacodynamic 解析 ・薬物の体内動態と臨床効果の個体差 ・妊婦に用いる薬物の適正使用	実験900時間